

# 『一生懸命』 幻の新座市議会報告第202弾!

たかむらともや

## 👤 憲法記念日に・・・

5月3日(月)の憲法記念日の僕の日記にはこう書いてあります。

”コロナに対して無為無策の菅政権が「改憲」には意欲的である。しかも、自民党の改憲推進本部の最高顧問はあの安倍晋三。

無能な政権下での「改憲」は本当に恐ろしい。改憲派の狙いが「九条」だからだ。アメリカに押し付けられた憲法であることは確かだとしても「九条」には大きな意味がある。本当に押し付けられたのは「日米地位協定」であり「九条」ではない。

「九条」は日本の発案である。「九条」があったから、日本の男達は朝鮮戦争にもベトナム戦争にも駆り出されることがなかったのだ。だから日本は高度成長することができたのだ。どうしても憲法を変えなければ「日米地位協定」から変えることだ。戦後75年以上経って、東京の空は勿論、全国各地が未だに米軍に占領され続けているのだから。押し付けられたというならまずは「日米地位協定」を破棄することだ。

今の内閣に「緊急事態条項」などの権力を持たせたら、この国の民主主義は終わりである。”(5月3日の日記から・・・)

コロナ禍で国民の生活が本当に大変な時に、コロナ対策よりも、オリンピックや憲法改正に力を入れる政党を支持する国民がどれくらいいるでしょう。

憲法改正ではありません。

ワクチン外交で無能振りを曝け出した菅政権ですが、中国がこれだけ不穏な動きをしているときに、中国版TPPと言われる中国主導のRCEP(東アジア地域包括的経済連携)に参加してしまったのですから、本当に恐ろしい。中国資本は今でも日本に大量に入り込んでいます。日本のあちこちの土地を爆買いしている話は有名です。憲法改正などをしている場合ではないのです。オリンピックも論外なんです。👤

2021年5月31日発行



右から山口常義校長、小寺先生、僕、そして若狭先生です。僕が白い鉢巻をしているので五中7期生の体育祭ですね・・・👤

## たかやんのプロフィール



本名たかむらともや  
新宿区立西戸山中、  
石神井高、北海道大  
庭球部卒。船乗りに  
なる予定が、大学3  
年の冬。朝日新聞の  
「今学校で」を読み、

教師になることを決意。無理矢理「教職の単位」を取り、昭和52年、新任で新設の新座五中3年4組の担任となる。当時は「校内暴力」吹き荒れる時代で、新任で3年の担任をやることなど、日本全国どこを探してもあり得なかった。本当に酷い先輩達である。(笑)

五中・六中・二中で21年間、担任をした後、退職しカナダ・アメリカへ。帰国後、石神2丁目で「たかやん塾」を開校。その後、新堀1丁目に移動し、現在は石神3丁目で中高生と共に学び続けている。

好きな言葉は「一生懸命」「継続は力なり」  
身長175センチ、体重68キロ、体脂肪率11.7%。血液型B型。写真はもう直ぐ18歳になる娘の夏未。息子の空は金髪、この娘は緑。👤

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

## ③ 同調圧力に負けないで！！

5月24日、東京では高齢者の集団予防接種がはじまりました。勇気ある高齢者が未知のワクチン接種をすることに敬意を表しながらも、そのことが若い人達への「同調圧力」になるのではと心配になります。

mRNAワクチンだろうが、DNAワクチンだろうが、どれくらいの期間で代謝されるのか、それが我々の遺伝子にどのように作用するのか全く分からないからです。「不妊」の可能性を指摘する人も複数います。接種直後に数百人の方が既に亡くなっていますが、数年後十数年後の副反応が本当は怖いのです。

もしかしたら、このワクチンは変異種のコロナウィルスに弱いかも知れないし、このワクチンそのものが新しい変異種を生み出す要因になるかも知れないのです。

920 Women Lose The Unborn Babies After Getting Vaccinatedというイギリスからの情報が恐ろしい。6月議会でも取り上げましたが、

イギリスではワクチンを接種して、920人のお母さんがおなかの中の赤ちゃんを失っています。アメリカでは395人のお母さんが赤ちゃんを失っています。以前からこのワクチンが胎盤形成に必要なシンチシンというタンパク質形成に影響を与える**可能性がある**という指摘をしている科学者がいました。**デマではありません。可能性を言っていたのです。**

それなのに、日本では「中高生に集団接種」というところまで出てきました。

冗談じゃないぞ！！不妊の可能性が彼方此方で指摘されているのに……。そんなワクチンを未来ある子ども達に打たせていい訳がない。**ワクチン接種があくまでも「希望者」というのなら、テレビで呼びかけることも、新聞で呼びかけることもやめて欲しいものです。あれは製薬会社のコマーシャル以外の何物でもありません。製薬会社とその株主はぼろ儲けするでしょうが、打った人たちの体はボロボロになる可能性があるのですから……。**

特に未来ある子どもたちには打ってほしくありません。若い人達にはワクチンのリスクの方が高いのですから……。

## ③ 若い先生達へのメッセージ！！

これだけ世の中が不安定で、不安を抱えた大人が多くなれば、子ども達はもともと不安定になってあたります。

荒れる子もいるし、空腹な子だっています。そういう子がいたら、愛情をたっぷり注いで、一緒に悩んで、一緒に考えて、一緒に成長するのが教師の仕事だって、僕は思って生きてきました。きっと僕の先生や僕が尊敬する先輩達も、そうだったと思います。

**決して、誰も排除しない……それが教育であり、それが学校だ……僕はそう習いました。**

だから、誰でもわかるような授業も考えてきたし、分からない子がいたら、分かるまで教えようとしてきました。

それが今の学校は子ども達が何を悩んでいる、どんなに学習が遅れていても、“**そんなの関係ねえ！**”って大量の課題出します。課題を忘れると“**そんなの関係ねえ！**”再登校は許さない、それがルールだ！”と評価を下げていきます。

僕はそのルールに大いに疑問を感じています。学校の細かいルールは誰の為にあるのか？という疑問です。**学校の決まりは子ども達を守る為にあるべきです。**

子ども達の人権を守る為、子ども達の学習権を守る為にあるルールなら、何の文句もありません。でも、それが熱意も授業力もない教師達を守る為のものだったら……1つも必要ありません。

今の時代、教師という仕事に魅力を感じる人は少ないかも知れません。どんなに働いても残業代がでることはありません。子ども達の為にと、時間をオーバーして学校に残れば「週に45時間を守れ！」「働き方改革だ！」と管理職に怒られます。おまけに今はITの知識がないと、授業そのものが成り立たなくなってきています。

それでも目の前で子ども達が変化していくのを見守ることができるのですから、堪らない仕事だと僕は思うのです。**子ども達を守る為の「学校のルール」をつくっていくことが今を生きる先生達の仕事だと思います。**

